

▶再開発で生まれ変わった春日町西地区。ビルはNERIMAの文字からNとAを取ったもの。
3月に開通した練馬春日町トンネル入り口付近。



平成12年に大江戸線が全線開通し、練馬区から都心へのアクセスが一段と便利になりました。練馬春日町駅のある練馬ヶ丘が丘間は平成3年に最初に開通した区間。駅前のシンボルタワーエリム春日町も新駅ができることを考えて、練馬区初の再開発事業で建てられたもの。区立春日町図書館や店舗、住宅などが入っています。

環状八号線も練馬春日町トンネルの開通で、川越街道と目白通りまでの区間が通行できるようになり、今後この町はさらに発展していく可能性を秘めています。

春日という地名は、鎌倉時代に奥州征伐の戦勝祈願にはじまり、練馬城主豊島泰経も一族の守護神として深く崇敬した春日神社に由来しています。

発展していく春日町



楽しく学べる春日町リサイクルセンター

環八通りを平和台方向にしばらく歩くと、練馬東中学校の向かいに春日町リサイクルセンター（ ）があります。開町に続き、平成14年10月にオープンした、区内で2館目の施設です。パリアフリーはもちろんのこと、建材にリサイクル品を使い、太陽光発電や風力発電も備えて、人と環境にやさしい造りとなっています。



◀練馬大根碑
將軍綱吉の奨励説や上練馬村の亦六がこの地に栽培したのが始まりともいわれている。

▲愛染院
練馬区春日町4-17-1

◀鐘楼の礎石は沢庵石で造られている。また、梵鐘は戦時中の供出にもあわなかった貴重なもの

愛染院と練馬大根の碑

駅の北側に出るとすぐに愛染院（ ）があります。真言宗豊山派の寺で、「連月山愛染院観音寺」といい、江戸時代からの由緒ある寺院。特に境内にある元禄14年鑄造の梵鐘は歴史の重みを感じさせます。

山門から富士街道へ通じる参道には、昭和16年に練馬漬物組合によって建てられた練馬大根碑（ ）があります。昔、この一帯は沢庵漬に最適な練馬大根の産地として知られていました。江戸の元禄期に練馬の特産となり、昭和はじめには練馬といえば大根と云われるほどでした。



春日町リサイクルセンター
練馬区春日町2-14-16
大江戸線練馬春日町駅A2出口より徒歩15分。
月曜・祝日は休館
☎ (3926) 2501
FAX (3926) 2505

◀屋上の太陽光発電装置
センター入口の風力発電装置

事業の企画・運営は、公募した61名の協力が4部会に分かれて行っています。

家具展示部会では、不用になった家具を修理し、展示販売しています。「気軽に来てもらいたいですね。欲しいものがその時はなくても、数日後には入ることがありますから」とのこと。使えそうな家具を粗大ゴミに出す前に、また安く手に入りたい時には、気軽に問い合わせしてみたいかがでしょうか。

工房部会が行っている講座では、誰もが簡単に不用品を蘇らせる方法を学べます。「さき織り」講座では、細く裂いた古布を緯糸（よこいと）に織っていくだけで、元の布からは想像できないステキな柄のマットができていました。楽しくて何人も参加する人がいるそうです。

環境学習部会では、「キッチンから始まる毎日のエコ」として、生ゴミを使った堆肥作り、廃油からの石鹸作り、エコクッキングなどの講座を開催しています。環境学習と聞くと難しい気がしますが、誰もができる環境にやさしい暮らしのコツを学べます。「ぜひ皆さんに体験してもらいたいですね。やると楽しいですよ」と協力の皆さん。見てると本当に楽しそうで、自分でも試してみたいくなりました。

情報資料部会が作る情報誌「じゅんかん」には、環境やリサイクルに関する情報をはじめ、各部会の活動や講座

農業へのこだわりから生まれた「みやもとファーム」

富士街道を高松方面に直進し、スーパーの手前を左に入ると周りを畑に囲まれた農園レストランみやもとファーム（ ）が見えてきます。

このお店は、目の前の畑で採れた有機野菜の素材を使った焼き肉レストラン。店内は家族連れを対象に考えた明るい造りです。経営者の宮本茂昭さんに、このお店を始めたきっかけを伺うと、「以前は、果樹園（主にブドウ）を一人でやっていたが、ある日大雪で果樹棚がつぶれてしまった。それを機に自分でつくった野菜を使って何かでき

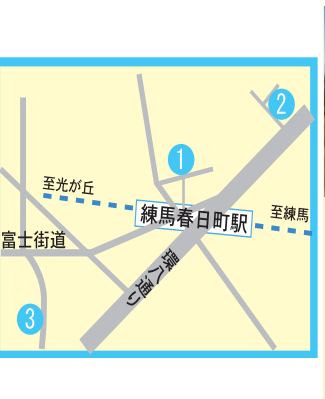


環境学習部会での堆肥作り。
4月12日に公開講座「春と遊ぶう」を開催予定。詳細についてはセンターまでお問い合わせを。

工房部会では協力員の方の指導で毎月7～8回の講座を開催（手すき、布ぞうり、ステンシルなど）。要電話予約。

家具展示部会の展示室。大型家具は毎月15日に抽選販売、小型家具は即売している。詳細はセンターまでお問い合わせを。

の予定も載っています。区立施設などで見かけたら手に取ってみて下さい。楽しく続けられるエコ生活のコツがここにはたくさんあります。皆さんも一度出かけてみてはいかがでしょうか。



▶温室では店の食材サンチュを栽培
1区画30㎡の農地が96区画あり、春の野菜づくりがもうすぐ始まる。

農園レストランみやもとファーム
練馬区高松2-15-18
練馬春日町駅より徒歩10分
・年中無休 駐車場完備
・営業 11時30分～23時
ランチタイム11時30分～14時
☎ (3577) 3929

「みやもとファーム」の経営者で、農業体験塾長の宮本茂昭さん。「食の原点は土から」を基本に、農業体験塾で作付けから収穫までを指導している。

ないかを考えていたところ、農業を通じて知り合った畜産農家の友人から薦められたのがきっかけかな」と話されています。まさに農業との関わりから生まれたお店です。

宮本さんの農業への思いは、お店だけでなくとどまらず農業体験塾へと発展していきます。開かれた農業を目指し、地域の人の交流を大切にしていこうとする熱い思いが平成12年4月に実現し、みやもとファーム農業体験塾を開園して現在も塾長として活躍中です。「農業を通じているいるな人に出会えるのが最高の収穫」という言葉に、宮本さんの今の気持ちが現れているようです。

広告募集

誌面に広告を掲載して下さる企業主を募集しております。

掲載料
4面1コマ(縦42ミリ×横80ミリ)
につき1万5千円(消費税別)

広告料やお申し込み方法など詳細については A6(財)練馬区都市整備公社 こもれび編集室までお問合せください。
こもれび編集室 ☎03(3993)8011

東京都練馬青果地方卸売市場

べじふるセンター練馬

皆様に親しまれる青果市場に!

愛称募集にはたくさんのご応募を頂き、ありがとうございました。お蔭様で「べじふるセンター練馬」として、新たなスタートを迎えることができました。今後とも、新鮮で安全・安心な青果物を皆様の食卓にお届けし、皆様に広く愛されるよう努めてまいります。

東京新宿青果株式会社練馬支社
練馬区高野台2-1-18 03-3997-3111